

## 生活協同組合パルシステム東京 足立センターの取り組み

生活協同組合パルシステム東京が運営する配送センターです。商品カタログ及び注文票の電子化に伴う印刷量の削減、配達時に供給したものは翌配達時に全て回収する理念の下に社内外に協力を呼び掛けています。

令和5年度から令和6年度にかけて紙類の発生量が3.6 t 減少し、産業廃棄物の再利用率が16 %向上するなど、積極的に廃棄物の発生抑制や資源化、適正処理に取り組んでいる事業者です。

### 【発生抑制の取り組み】

- 1 商品カタログ及び注文票の電子化に伴う印刷量の削減をしています。
- 2 仕出し弁当の利用、個人で持ち込んだごみ(弁当容器、ペットボトル等)の持ち帰り、マイボトル持参等を従業員に勧奨しています。
- 3 ウォーターサーバーに加えて、今年度から製氷機を導入することで、いつでも冷水を供給できる環境を整備し、ペットボトル等の購入量を削減しています。
- 4 計りを用いた自社計量及び令和6年度における廃棄物発生量の対令和5年度削減量を表示(下半期は減少)しています。

### 【資源化の取り組み】

- 1 リサイクルボックス活用の定着化、ミックスペーパー専用置場の設置により、紙類の再利用率は100 %となっています。
- 2 配達した発泡スチロール、ビニール等は翌配達時に全て回収するほか、牛乳パックは他社製のものでも、回収して本社でリサイクルしています。

### 【適正処理の取り組み】

- 1 新入社員及び管理職従業員に向け、eラーニングを活用した勉強会を開催しています。
- 2 リサイクルボックスにおける対象外物混入点数を掲示し、分別を啓発しています。
- 3 分別容器に詳細表示をして、分別を啓発しています。
- 4 雑がみについて、具体例や禁忌品をイラスト付きで掲示し、従業員に周知しています。